



学校だより 5月

令和5年4月28日

横浜市立芹が谷南小学校

学校Webページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/serigayaminami/>

明日が楽しみ

校長 大島 恵子

若葉の美しい季節となりました。個別支援学級の子どもたちが育てているイチゴは青い実をつけ、もう少ししたら赤く色づくことでしょう。ツツジも咲き誇り、白、赤、ピンクの花々と緑の葉の美しいコントラストに生命の力強いエネルギーを感じます。来週からは5月になります。

昨年度の話になりますが、3月ごろ、1年生と登校時に話す機会がありました。1年生は、その日学習する予定の授業について嬉しそうに私に話してきました。「今日ね、3時間目が体育なんだ。縄跳びをやるんだよ。僕は二重跳びに挑戦しているの。でもね、うまく跳べないんだ。この前、一回はできたんだけど今日は跳べるかな。」「跳べるといいね。頑張っ！」1年生の話はまだ続きます。「国語はね、動物の赤ちゃんを勉強しているんだ。ライオンの赤ちゃんのことを校長先生は知ってる?」「知っていますよ。弱々しくて、あまりお母さんに似ていないのね。」「そうそう、ライオンの赤ちゃんはそうなんだよ。今日はね、シマウマの赤ちゃんを勉強するの。」「楽しみね。どんな赤ちゃんか勉強したら、校長先生に教えてね。」「はい!」1年生は笑顔でピョンピョン弾みながら、昇降口の方に向かって走っていきました。1年生との会話を終えた私は、毎日の授業が楽しみでわくわくしている1年生の様子にうれしくなりました。そして子どもにとっての授業、学校の在り方などについて思いを巡らせました。

学校は年間を通して様々な行事があります。行事以外でも、全校で、学年で、クラスで取り組む様々な活動があります。そうしたスペシャルな活動も子どもの学びには必要であり、行事や集会等を通して子どもたちは多くのことを学びます。芹南ピックや宿泊行事、遠足等楽しみにしている子どもたくさんいるでしょう。ただスペシャルな活動は毎日あるわけではなく、日々の学習に取り組む時間の方が一年を通してみると圧倒的に多いといえます。だからこそ、日々の学習の中で子どもたちが「わかった!」「できた!」「楽しい!」という思いをもてるよう毎日の授業を大切にしていける必要があります。安心して過ごせる自分の居場所が学校にあり、毎日の授業の中で喜びを感じられる、明日も学校に行きたいな、先生や友達と一緒に勉強したいな、子どもたちがそう思えるような日々を、学校を創っていきたいと思います。私は「明日が楽しみ」という言葉が好きです。芹南の子どもたちが「明日が楽しみ」と感じられる毎日であるよう、我々教職員は魅力のある授業づくり、学校づくりを目指していきます。今後も皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



まだ青いイチゴの実。もうすぐ赤くなりそうです。